

◆同業種間異業種間の世界的な生存競争の時代に入った

金の力で勝つか知恵で生き残るか。日本の中堅中小企業は知恵を発揮して存続成長していかなければならない。しかし所詮は大企業の金の力には早晚追いつかれる。短時間に知恵を使い、先手先手で生きて行くことになる。

知恵を使う分野は、新市場の開発、新生産技術の開発、多品種生産の無人化などであろう。これらのベースは裏方を担う生産企画力や生産技術力の差になりつつある。

生産企画とは、生産工程の開発が中心で幅広い工学的発想が成果を出すことになる。業種に関係なく、役立つ工学は機械→電気→製缶→流体→電子→情報→化学などあらゆる分野に広がりを見せている。

生産技術も加工機械設備・治工具の開発から加工に付帯する分野まで広がっており、物流や情報・人の動きまで併せて取り組むことさえ起こりだしている。

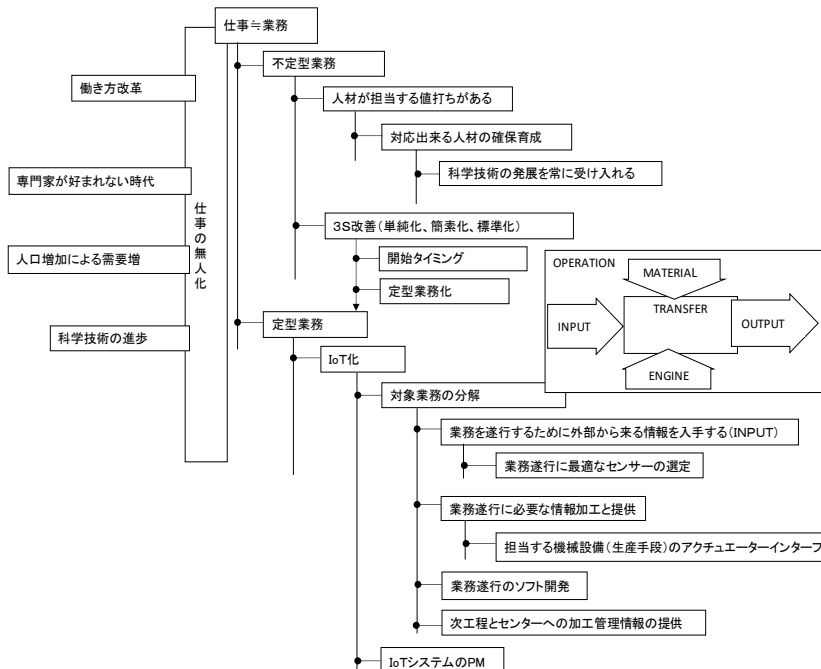
この縁の下の力持ちを如何に強化するかが日本の中堅中小企業が生きる必要条件になって来つつあるように思う。

◆BSOは、IoTへの取り組みがこれからの生産技術の柱の一つになるとみる

長年必要性を説き研究会を開催すべく働きかけてきたが、今年度やっと参加企業を含め3社で開始することが出来た。

出来るだけ早い時期に戦略部隊として活躍することを目指しながらも初心者レベルから始めている。

この半期の研究フレームーIoT化の取り組みー



◆新時代の兆し

1) コミュニティの場づくり

- ・SNSなど以外にもコミュニティに参加したい潜在個客がいる。
- ・低価格で気楽に参加出来るロコモK.O事業も意外と面白い。

2) 食べ物の素人ビジネス

- ・外国人が自分の生活のための収入稼いで始めるなどの事例が目につくようになった。

3) 発想豊かで面倒見が良い不動産仲介業者と付き合う

- ・不動産は売るのではなく、使い方を考えて貰いビジネスにする時代。

4) 変わり種自販機・無人店舗

- ・意外な商品を扱う自販機、コンビニでは品数が満足できないおつまみショップ。

5) ママ友モール

- ・子供連れで用事を済ませるなど、ママ友たちがひとときを過ごすビルの建設が計画中。

◆霧研に外国人が参加

- ・今期の霧研生は10数名で始まった。
- ・ホーチミン工科大学卒の高度人材が1人参加して、日本人参加者と一緒に切磋琢磨している。
- ・地区別より合同の会合を増やしたせいか活発だ。(新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催)
- ・今期は海外研修も実行しようと意気込んで夜遅くまで議論が白熱している。

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々に知っていただく為に発信しております。(お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで)